

試験研究の企画調整

山本伸一ほか企画研修部全員

【目的】

本県の水産業振興に資する試験研究を計画的・効果的に推進するため、課題設定、進行管理、成果の普及など、総合的な企画調整を行う。

【事業内容】

- 1 試験研究ニーズ等の把握
- 2 試験研究の総合的な企画調整
- 3 試験研究の進行管理
- 4 研究成果の広報・普及
- 5 国内外の技術交流・研修の調整

【23年度の実績】

1 試験研究ニーズ等の把握

1) 図書文献の収集整理

当センターに配布のあった各研究機関等からの事業報告書や研究報告書等の文献を整理し、図書室に保管するとともに、データベースに登録した（毎月2回程度）。

2) ネット情報の収集整理

随時、インターネット上にある試験研究関連情報等を整理し、研究員等に周知した。

3) 現地応用講座・視察研究受入等によるニーズ把握

県内各地で実施した各種研修等や当センターにおける視察研修の受入時に、漁業者等からの試験研究に対するニーズの把握に努めた。

2 試験研究の総合的な企画調整

1) 研究開発推進会議

当センターの試験研究業務の適切かつ効果的な推進を図ることを目的に開催した。

- ・日 時：平成23年9月13日（火） 13:30～15:00
- ・開催場所：県庁漁業調整委員会室
- ・出席者：研究開発推進会議委員7名、当センター7名
- ・内容：平成23年度終期事業及び平成24年度新規事業について協議していただいた。

2) 水産総合研究センターとの連携等

- ・（独）水産総合研究センター主催のブロック別水産業試験研究推進会議の本会議及び部会（西海区ブロック）や専門分野別水産業試験研究推進会議（水産利用加工等）に出席した。
- ・10課題について、共同研究や連携した研究に取り組んだ。

表1 (独)水産総合研究センター主催の会議等への出席状況

期 日	会 議 名	開催地	出席者
11月9～10日	西海ブロック水産業関係研究開発推進会議 漁業資源・海洋環境部会，地域増養殖研究部会， 有明海・八代海研究部会	長崎市	担当部長
11月15～17日	水産利用関係研究開発推進会議及び利用加工技術 部会研究会（品質安全研究会・資源利用研究会）	横浜市	担当職員
12月8～9日	漁場環境保全関係研究開発推進特別部会 赤潮・貝毒部会	広島市	担当職員
12月13～14日	西海ブロック水産業関係研究開発推進会議	福岡市	所 長
12月13～14日	内水面関係研究開発推進会議	宇都宮市	副 所 長

3) 他県との連携等

九州・山口ブロック水産試験場長会

場長会（2回）及び各分科会に出席した。なお，漁業分科会は，本県が担当県となり指
宿市等で開催した。

表2 九州・山口ブロック水産試験場長会及び部会への出席状況

期 日	会 議 名	開催地	出席者
5月24～25日	第1回場長会	長崎市	所 長
7月27日	磯焼け・藻場造成分科会	大分市	担当職員
9月8～9日	第2回場長会	佐賀市	所 長
10月19～20日	漁業分科会	鹿児島市	所長，担当職員
10月13～14日	利用加工分科会	宮崎市	担当職員
10月13～14日	漁場環境分科会	宮崎市	担当職員
11月1～2日	魚病分科会	熊本市	担当職員
1月16～17日	内水面分科会	八代市	担当職員
2月7～8日	海面増殖分科会	那覇市	担当職員

他県との共同・連携研究

10課題について，共同研究や連携した研究に取り組んだ。

4) 大学との連携等

水産研究交流セミナー（平成13年度から毎年1回実施）

鹿児島大学水産学部との連携を図るため「水産研究交流セミナー」を開催した。

- ・日 時：平成23年11月15日（火） 15:00～17:00
- ・開催場所：鹿児島大学水産学部 大会議室
- ・出席者：鹿児島大学水産学部23名，当センター22名
- ・内 容：水技センターと水産学部間の共同・連携研究活動の紹介及び情報・意見交換

大学との共同・連携研究

10大学，16課題について，共同研究や連携した研究に取り組んだ。

5) 各種競争的資金にかかる情報収集・管理

各種資金の説明会，情報交換会等に参加し，所員へ伝達し，競争的資金の応募等を促進した。

表4 平成23年度に新たに採択された競争的資金

制 度 名	採 択 課 題
農林水産省（水産庁） 漁場環境・生物多様性保全総合対策委託 事業	赤潮・貧酸素水塊漁業被害防止対策事業 （新奇有害プランクトンによる漁業被害防止、 軽減に関する研究）
農林水産省（農林水産技術会議） 委託プロジェクト研究	微生物相に基づく漁業被害の発生予測・抑制 技術の開発
農林水産省（農林水産技術会議） 新たな農林水産政策を推進する実用技術 開発事業（研究成果実用型）	輸入魚粉に頼らない新しい水産飼料の開発に よる養殖業経営の安定化
農林水産省（消費・安全局） 養殖衛生対策推進事業（受託者；日本水産 資源保護協会）	ノカルジア症におけるマイクロダイリユーシ ョン（液体培地）法によるMIC測定とサルフ ア剤耐性菌についての調査
農林水産省（消費・安全局） 有害化学物質リスク管理基礎調査事業	ヒスタミン実態調査及び製造実験（ヒスタミ ン実態調査及び製造実験）

3 試験研究の進行管理

試験研究の進行管理，評価等を行うため，4月に進行管理，10月に中間進行管理を行うための
所内会議を開催した。

また，各部署ごとに業務検討会（4～5月開催）を開催した。

4 研究成果の広報・普及

1) 漁業情報システムによる研究成果の広報・普及

漁業情報システムの情報発信機能（ホームページ等）を活用し，研究成果の広報・普及を図
った。

ホームページへの掲載回数「研究の動き」：52回，「新着情報（更新）」：151回

2) 漁業研修の推進

各種漁業研修を通じ研究成果の広報・普及を図った。（「漁業研修推進事業」参照）

3) 機関誌「うしお」の発行

研究成果の広報・普及を図るため，機関誌「うしお」を4回（5，8，11，2月）発行した。（発
行部数：250部/回）

4) 事業報告書の発行

平成22年度版事業報告書を10月にホームページに掲載した(20年度版から印刷製本休止)。

5) 研究報告の発行

研究成果の広報・普及を図るため、「研究報告第3号」を平成24年3月に発行した。

6) 研究報告会の開催

研究成果の広報・普及を図るため研究報告会を開催した。

- ・期 日：平成24年2月9日(木)
- ・場 所：かごしま県民交流センター大研修室第1及び中研修室第1
- ・内 容：

口頭報告

報 告 課 題	報 告 書
内之浦及び志布志湾の海況	資源管理部 主任研究員 富安 正藏
赤潮防除剤の開発と効果的利用方法	漁場環境部 主任研究員 田原 義雄
ブリ類を対象とした魚粉低減飼料の開発試験	安全食品部 研究専門員 前野 幸二
モクズガニ種苗生産技術開発の現状と課題	種苗開発部 研究専門員 神野 公広

ポスタ - 発表

報 告 課 題	報 告 者
ブリの年齢・モジャコの日齢	資源管理部 主任研究員 穴道 弘敏
クロマグロ稚仔魚の分布調査	資源管理部 研 究 員 堀江 昌弘
シャトネラ赤潮対策	研究主幹 折田 和三
ヒジキ人工種苗の量産試験	漁場環境部 研究専門員 徳永 成光
ちりめん・シラス加工における通電加熱装置の導入の検討	安全食品部 主任研究員 保 聖子
種苗生産を支える餌料生物たち	種苗開発部 主任研究員 今吉 雄二

5) その他

表5 特許等の出願状況

種 別	出願状況等	件 数
特 許 権	登 録 済 み	1 件
	出 願 中	0 件
	審 査 請 求 中	0 件
意 匠 権	登 録 済 み	2 件
計		3 件

5 国内外の技術交流・研修の調整等

国内外からの研修視察を受け入れるとともに、必要に応じて当センター職員等の講師について調整を行った。

表6 研修視察等の受入実績

区 分	受入団体数	受入人数
研修視察	25	292
海外研修生	3	11
インターンシップ	2	6
一般見学	50	1,169
合 計	75	1,461

表7 研修視察等の受入実績の推移

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
受入人数	4,648	2,880	2,338	2,359	1,932	2,043	1,719	1,461